

森田和裕さん記録更新へ力走 福岡国際マラソン出場

令和3年12月5日に開催された第75回福岡国際マラソンに、森田和裕さん（大字玉川）が
出場されました。

この大会は保持記録による参加資格が設けられており、実力者のみ参加が認められる大会です。大会当日は、気温も高く途中棄権者が続出する中でのレースとなりました。森田さんは112人中56着、2時間20分55秒という成績を収めました。

自身の持つ知的障害者マラソン世界記録（2時間20分07秒）にはわずかに届きませんでした。が、「3月の東京マラソンでは記録更新を目指して頑張ります」と力強く語ってくれました。



福岡国際マラソンを走る森田さん。「30⁺過ぎから足が動かなくなってきた」とのことでしたが、競技場が見えてからのラストスパートもあり、自身の持つ世界記録に近い記録でゴールをされました。

写真説明

スポーツ振興に尽力して32年 岩田大司さん全国功労者表彰

岩田大司さん（大字五明）が、全国スポーツ推進委員連合会功労者表彰を受賞されました。この賞は、長年に渡り、スポーツ推進委員として自己の研鑽に励むとともに、地域のスポーツ振興に功績のあった方を表彰するものです。

岩田さんは、玉川村体育指導員時代から現在まで32年間、スポーツ推進委員として活躍され、平成22年からは比企地区スポーツ推進委員連絡協議会理事、平成26年からは町スポーツ推進委員会会長として、スポーツの普及振興に多大に貢献されました。おめでとうございます。



表彰状を持つ岩田さん。おめでとうございます。

写真説明

魚が住める川を守るために！ 小学生がヤマメの稚魚を放流

令和3年12月16日(木)、ときがわ花菖蒲園（大字玉川）付近の都幾川で、玉川小学校の4年生がヤマメの放流を行いました。これは、「子どもたちに川の汚れを少しでも意識してもらおう」ため、町観光協会が主催し、武蔵漁業協同組合の協力により実現したものです。ヤマメを見送ったあと、子どもたちからの質疑や感想発表があり、「ヤマメをいっぱい見ることができて良かったです。この川にもっとヤマメが増えて、きれいな川になればいいなと思いました」といった感想がありました。生活に身近な都幾川への理解が深まった一日となりました。



3年ぶりの開設に向けて スケートリンクを手づくりで！

令和3年12月19日(日)、県内唯一の天然スケートリンクとなる上サ・スケート場（大字西平）のオープン準備が3年ぶりに行われました。手づくりのスケートリンクは、毎年この時期にスポーツ協会スケート部を中心に、スポーツ推進委員、スポーツ協力員、地元消防団、学校関係者などが協力して設営されます。早朝から角材や水を貯めるための巨大ビニールシート（横57m、縦27m）を広げるなどの準備を行い、最後に消防団による水入れが行われて天然のリンクが完成しました。その後12月30日(日)にオープンし、現在はスケートを楽しむお客さんで賑わっています。上サ・スケート場は2月上旬まで開設予定です。



①ビニールを引く前の土合作りです。②巨大な1枚のビニールのため、全員で担いで川を渡ります。③大人数で力を合わせて引っ張ることで、きれいに敷くことができます。水を張って完成！